

主な記事

2・3面 都本部第74回定期大会(質疑応答)

4面 私のおすすめ(町田市会計年度任用職員労働組合 執行委員長 立石 弘子)

都本部2025春闘総決起集会を開催

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部発行
企画 総務局
責任者 松村 誠治
編集者 西岡 芳宏
1部10円(但し組合員は組合費に含む)

都本部第74回定期大会 2025年度運動方針を確立

組合員の声を起点にした 運動強化と組織強化へ

都本部は、3月8日、第74回定期大会を連合会館大会議室で開催した。代議員141人(うち女性35人)が参加した。経過報告並びに2025年度運動方針(案)をはじめ、7つの議案を提案し、質疑答弁を経て、討議案である第4号議案を除きすべての議案が賛成多数で可決された。

今大会は、代議員対面参加、傍聴者は対面を基本とし、一部YouTube視聴による参加形式とした。なお役員信任投票を経て、松村誠治さん(葛飾区職労)を引き続き中央執行委員長とする新執行体制が確立した。

大会議長に石川代議員(葛飾区職労)、毛利代議員(東交)を選出した。松村委員長は挨拶で、「2025年は重要な節目の年である。春闘が70周年を迎え、物価高に苦しむ現状を改善し、安定した経済環境を作るべきである。また、戦後80年を迎え、平和の尊さを再確認し、核兵器廃絶と恒久平和の実現を訴え続けなければならない」と述べる。同時に、都本部2025運動方針確立にむけた

運動方針

11点重点項目

2025年度運動方針(案)、2025年度一般会計、特別会計予算(案)など、7議案について議論。運動方針では、①組合員の「声」を起点とした運動の構築、②第6次組織強化拡大の取り組み、③単組運動の活性化と「伴走役」としての都本部機能の向上、④

新たな組合役員を担う『人材』の発掘、育成の取り組み、⑤「地域のセーフティネット」を維持するための人員確保、⑥賃金闘争の再構築、⑦ハラスメントのない職場の実現に向けて、⑧憲法を守り、平和を確立する運動の推進、⑨参議院議員選挙の取り組み、⑩共助の活動を支える労働者自主福祉運動の強化・充実、⑪財政状況による執行体制の再構築の11点を掲げた。質疑では、組織強化・仲

間づくりの課題、組合費水準の課題、再任用職員の賃金改善の取り組み、会計年度任用職員の処遇改善などについて、事前質疑を含め、14単組16代議員から質疑・発言があった。その後の執行部答弁を経て、すべての議案が賛成多数で可決された。(詳細は2面参照)

第5号議案では、役員選挙(信任投票が電子投票システムにより実施され、すべての候補者の信任とともに25年―26年度の都本部新執行体制が確立された。委員長には、松村誠治さん(葛飾区職労・都本部前副委員長)が引き続き就任した。最後に、大会宣言(案)を都本部大塚副委員長より提起。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ地

区攻撃など、世界情勢は厳しく、国内では政治の不安定さと能登半島地震後の復興遅れが続いている中、自治労東京都本部は、組合員の「声」を基盤にした運動の推進、賃金闘争、組織強化を進め、地域のセーフティネット維持にむけた人員確保と公共サービスの向上に取り組む。また、参議院選挙での候補者再選をめざし、政治活動を強化し、方針実現にむけて全力を挙げ、戦うことを要旨とした大

自治労東京 ホームページのご案内

組合員のための
情報盛りだくさん
・機関紙デジタル版
・家電の限定優待販売も
3月3日から開始!



<https://jichirotokyo.jp/>
組合員専用ページ
パスワード「tohonbu」

東奔西走

今年の3月は定年引上げ後の初年度退職があった。60歳超の7割賃金水準に驚愕しながらも

新規採用職員のみなさん、おめでとございま皆さんの「いのちと暮らし」を守り、より良い職場環境を築いていくことに力を注ぎます。新しくて仲間の皆さん、私たちが労働組合の存在意義を感じ、新しい仲間たち、合は、皆さんの味方です。いと思ひます。また、周囲を、よろしくお願ひいたし、一緒に作っていきましょう。労働組合は、新人職員のお手助けをさせていただきます。皆さんを応援します。

新しい仲間の皆さんへ 失敗を恐れず、 積極的にチャレンジ!



自治労東京都本部
中央執行委員長
松村 誠治

私たちは、皆さんの権利の成長が、職場をもっと安全で充実したメニューが揃っている「じちろう共済」を利用できます。組合員とその家族の「くらし」をしっかりとサポートする「じちろう共済」もよろしくお願ひします。結びに、皆さんの今後の活躍を心からお祈りしています。住民の安心な暮らしのために、私たちが自身のために、より良い職場を一緒に作っていきましょう。労働組合は、新人職員のお手助けをさせていただきます。皆さんを応援します。



▲議案採決の後、松村中央執行委員長の団結ガンバローで閉会した



今年3月、定年引上げ後の初年度退職があった。60歳超の7割賃金水準に驚愕しながらも踏ん張っていたが、さらに暫定再任用として4月からも働き続けていたことに、心から感謝する。また4月は、多くの新規採用者も入庁した。研修と日常業務とで毎日がてんてこ舞いだろうが、この数年の賃金確定闘争において初任給がかなりアップしたので給料日を楽しみにしている。賃上げといえ、連合東京は「賃上げがあたりまえの社会」みんなでスクラム、つくりたい。労働組合をスローガンに今春闘に取り組んでいる。会社は労働組合があるかないかで、賃上げに1%の差が出ている。もちろん、労働組合のある会社の方が賃上げ率は高い。翻って公務員職場では労働組合の存在意義が見えにくく、やや敬遠されがちだが、実は異動時や日頃の相談など、緑の下力持的に労働組合が活躍していることが多い。▼新規採用職員、皆さん、遠慮せず労働組合に加入してね!

(佐々木)

都本部第74回定期大会 (質疑答弁)

今回の定期大会では、9単組より事前の質疑があり、主に運動方針における「高年齢職員の賃金労働条件改善の取り組み」、「会計年度任用職員の雇用安定と賃金・労働条件改善の取り組み」、「公共サービス労働者の総結集と組織強化の取り組み」、「安心と信頼の社会保障制度に向けた取り組み」などについての内容であった。都本部は大会当日に改めてその場で質疑を受け、答弁を行った。

●経過に対する質疑

1 東京清掃労組 萩原代議員



2 自治労八王子臨時 ・非常勤職員組合 橋爪代議員



3 八王子公共労 小泉代議員



都本部現業評議会は、第33回定期総会を開催し、運動方針を確立した。コロナや災害時にその重要性が再認識された現業職場の活性化には新規採用が不可欠であり、成果として新規採用が増加している。セミナーや部会を通じて課題共有や職場活性化に取り組む。

会計年度任用職員制度は、処遇改善や雇用年限撤廃が進んだが、課題は依然として残る。我々は年度ごとの任用となり、年度末には雇用不安が生じる。組合はこれらの声を取り上げ、解決にむけて声をあげる役割がある。課題解決のためには、多くの仲間と声をあげることが重要である。

●経過に対する執行部答弁

1 現業職員の新規採用にむけた決意表明に感謝する。現業職場は合理化攻撃に立ちむかい、大規模災害や感染症対応で奮闘した結果、採用が増えてきている。しかし、都本部内でも23区と多摩で差があり、現業職場における課題解決にむけて取り組んでいる。来月の単代表員会で現業方針を提起し、全単組で要求書を提出することが重要である。

2 会計年度任用職員制度は、課題が残っており、雇用年限の改善が求められている。雇用年限に対する管理職からのハラスメントは許されない問題であり、組合が組織されない自治体でも起きている。協議会を通じて仲間を増やし、状況を打破していく必要がある。

3 公共民間の課題として、適正な価格設定が必要であり、自治体単組との連携が不可欠。都本部は公契約条例の制定に取り組んでおり、春闘では公共民間単組の賃上げを実現したい。雇用の安定と賃金労働条件の改善に引き続き取り組む。

●議案に対する質疑

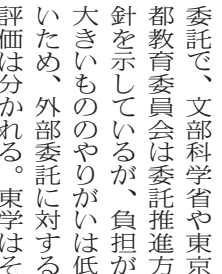
1 北区職 栗野代議員



3 東京清掃労組 渡辺代議員



5 八王子市職 渡辺代議員



2 練馬区職労 矢内代議員



4 東学 田野辺代議員



▲大会では各代議員より積極的な質疑が繰り広げられた

現在、都内自治体の半数が公会計化を実施している。社会保険制度改革により負担増が求められ、共済組合の存続が問われている。短期給付、長期給付、福祉事業を守るため、短時間勤務

務職員への適用拡大や健診強化、年金制度改正への対応が必要である。共済組合は組合員の身近なセーフティネットであり、今後も制度の堅持と発展に取り組むため、支援と協力が求められる。

7 東京国保労組 関代議員



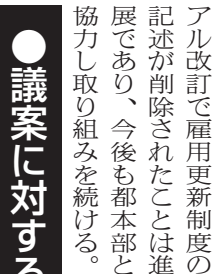
再任用職員の賃金、特に一時金の支給月数について、給料や一時金が低く設定され、会計年度任用職員に勤労手当が支給される一方、対象外となっている。この不公平に対する不満が組合への不信につながっており、改善が急務である。昨年の確定闘争で一定の成果はあったが、引き続き重要課題として国に働きかけるため、中央本部への継続的な発信を都本部に求める。

9 新宿区職労 阿美代議員

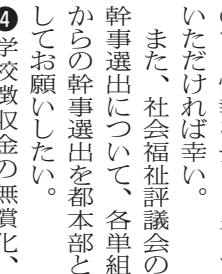


再任用職員の一時金問題や高齢期職員の処遇改善について、具体的に都本部が本部に要請し、成果を上げたい。報告として、役員の人材不足解消のため、新たに5名の役員が加わった。顔写真付きホルダーの改良やアンケート実施も行い、安定した運営を進めている。さらに、未加入者への個別案内を行い、再加入者が続出。住民の福祉と健康を守る集会(健康集会) 9月12・13日に日本教育会館で開催されるので、多くの現場職員の参加をお願いしたい。

10 荒川区職労 安達代議員



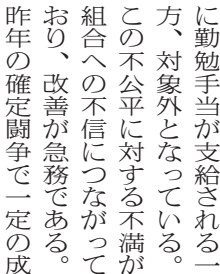
11 中野区職労 古林代議員



組織財政検討委員会に参加し、都本部の財政が厳しいことを実感した。シミュレーションでは10年後に財政が破綻する可能性も指摘された。予算案で支出の削減や見直しが行われたことは評価するが、予備費が増加している理由について説明を求める。また、昨年の大会で発言した組合費の見直しについて、その後の状況を教えてほしい。

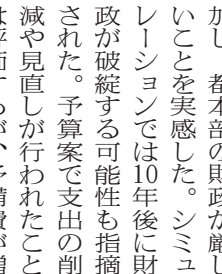
再任用職員の一時金問題や高齢期職員の処遇改善について、具体的に都本部が本部に要請し、成果を上げたい。報告として、役員の人材不足解消のため、新たに5名の役員が加わった。顔写真付きホルダーの改良やアンケート実施も行い、安定した運営を進めている。さらに、未加入者への個別案内を行い、再加入者が続出。住民の福祉と健康を守る集会(健康集会) 9月12・13日に日本教育会館で開催されるので、多くの現場職員の参加をお願いしたい。

12 八王子市職 若田代議員



女性部は現在5人で活動し、ウェブ会議や学習交流会、女性労働力フェスを開催しているが、役員数の不足と参画単組の偏りが課題。次世代役員の育成が急務であり、協力を呼びかける。さらに、八王子職では人員不足が深刻で、再任用職員に代わり、一時金改善が進んでいないため、4月の自治労現業政策集に参加し、意識向上と市当局へのアピールを行いたい。

13 武蔵野市職労 小町代議員

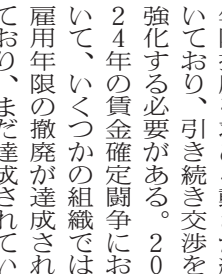


現在ほとんどの自治体が東京都の給与表を使用しており、休暇制度や手当についても当局は東京都準拠との週及改定や休暇制度の改善を進める方針である。10 予備費増の理由は、用途未決定分として確保されているものであり、一般会計の支出削減分は予備費として計上されることになる。今後、本部では組合費引き上げも議論されているが、組合員の意向をもとに、運動のあり方をしっかり考えて進めたい所存である。

14 福生市職 青海代議員



15 東京職安労組 若上代議員



1 40年以上にわたる単組の尽力は大きい。今後、単組の安定を祈念し、4月からの新規採用職員の組織化に全力で取り組む決意を示し、都本部も協力体制を築く所存である。

2、3、11 本部に対する要請について、再任用職員の一時金については人事院との交渉で取り組んでいる。また、社会福祉評議会の幹事選出について、各単組からの幹事選出を都本部としてお願いしたい。

4 学校徴収金の無償化、や女性を運動に参加させることが求められる。都本部には、単組間の連携イベントや財政補助の仕組みづくりをお願いする。

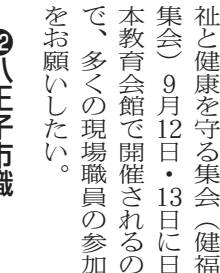
5 単組間連携未加入者加入促進対策助成金を活用し、若手職員向けのイベントが成功収めたことが報告である。今後他のブロックでも未加入者の加入促進や青年層の育成に役立てることが期待される。また、都本部では新たな役員の発掘と育成を進め、単組活動の活性化をめざす。

6 市町村共済制度に関する

しているため、交渉が難航している。このため、1単組で交渉しても進展しにくく、交渉の場を設けてほしいとの要望がある。

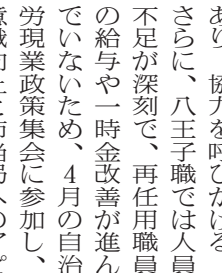
私は財政検討委員会として東京都本部の財政が非常に厳しいことを実感している。現在提出されている予算案には課題がある。前年踏襲ではなく、組合員のニーズを反映させた上で、予算案を精査し見直していただくよう求める。

16 東京職安労組 石原代議員



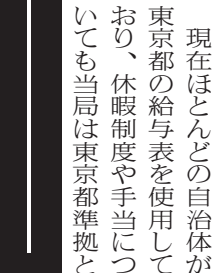
用頻度が低下している。ハローワークは公的機関として、求職者と求人者に適切な支援を行うべきであり、デジタル化はその目的に沿った形で進めるべきである。

17 東京職安労組 菅原代議員

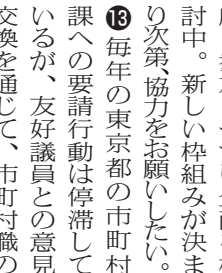


私は青年部の活動を通じて多くを学び、現在では組合専従や書記次長を務めている。特に新規採用者では4年連続で100%勧誘できていることは、青年部での学びのおかげである。本部青年部の活動にもっと多くの若手組合員を参加させるべきであると考えている。3月19日に開催される青年部定期総会には、各単組から代議員の出席をお願いしたい。

18 東京職安労組 菅原代議員



19 東京職安労組 菅原代議員



1 40年以上にわたる単組の尽力は大きい。今後、単組の安定を祈念し、4月からの新規採用職員の組織化に全力で取り組む決意を示し、都本部も協力体制を築く所存である。

2、3、11 本部に対する要請について、再任用職員の一時金については人事院との交渉で取り組んでいる。また、社会福祉評議会の幹事選出について、各単組からの幹事選出を都本部としてお願いしたい。

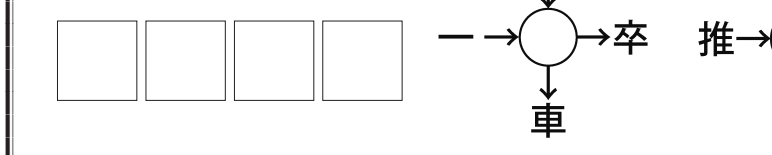
4 学校徴収金の無償化、や女性を運動に参加させることが求められる。都本部には、単組間の連携イベントや財政補助の仕組みづくりをお願いする。

5 単組間連携未加入者加入促進対策助成金を活用し、若手職員向けのイベントが成功収めたことが報告である。今後他のブロックでも未加入者の加入促進や青年層の育成に役立てることが期待される。また、都本部では新たな役員の発掘と育成を進め、単組活動の活性化をめざす。

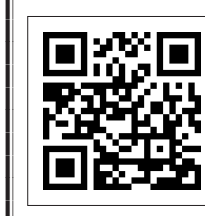
6 市町村共済制度に関する

機関紙パズル ほっと一息

【四字熟語パズル】
(1) ○の中に漢字1字を入れて、四方の漢字に対応する2字の単語を完成させてください。
(2) 4つの○のそれぞれの漢字が解答できたら、○の中の漢字を並べ替えて四字熟語を完成させてください。



●締切 2025年4月28日(月)
左記QRコードをスマートフォンなどで読み取り、必要事項を記入、ご応募ください。ご応募頂いた方の中から、抽選で10名様にギフトカード3000円分をプレゼントいたします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
●3月1日号 クロスワードパズルの答え「ソツギョウ(卒業)」



退任された役員の皆さん

当日、登壇が叶わなかった陳野聡前会計監事(東京国保労組)を含め、8名の役員が退任されました。これまでのご奮闘に感謝を申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念します。

▲高橋久実子
副中央執行委員長
(三鷹社協労)

▲中條貴仁
副中央執行委員長
(葛飾区職労)

▲佐伯里香
副中央執行委員長
(中央区職労)

▲平間英基
中央執行委員
(自治労環境サービス労組)

▲海老名隆広
中央執行委員
(渋谷区職労)

▲高山朋子
中央執行委員
(自治労八王子市臨時・非常勤職員組合)

自治労東京都本部2025-2026年度役員体制

中央執行委員長	松村 誠治(葛飾区職労)
副中央執行委員長(政治政策局長兼務)	篠崎 博史(東 交)
副中央執行委員長(労働局長)	大塚 悟司(自治労都庁職)
副中央執行委員長(政治政策局長)	佐々木 珠(葛飾区職労)
書記次長(企画総務局長、財政政策局長兼務)	笹川 勝宏(八王子市職)
中央執行委員(組織局長)	西岡 芳宏(東京職安労組)
中央執行委員(労働局長)	須崎 崇文(福生市職)
中央執行委員(組織局長)	新海 良文(町田市職労)
中央執行委員(政治政策局長)	多田修一郎(東京清掃労組)
中央執行委員(組織局長)	岡崎 徹(青 梅 市 職)
中央執行委員(労働局長)	萩原 正明(みなとユニオン)
中央執行委員(労働局長)	神農 祐輔(東久留米市職)
中央執行委員(労働局長)	双川 歳行(新宿区職労)
中央執行委員(労働局長)	中本 彩香(湯島市職労)
中央執行委員(労働局長)	富永 秀樹(江戸川区職労)
中央執行委員(労働局長)	中村 里子(自治労多摩市職)
中央執行委員(労働局長)	関 亜希子(東京国保労組)

